

## 平成24年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 平成24年7月4日(水) 14:00~15:45

2 場 所 千葉市議会棟 3階 第3委員会室

### 3 出席者

(1) 委 員 内山英昭委員、岡村太郎委員、小川直哉委員、五月女重夫委員、寒河江良一委員  
霜禮次郎委員、谷藤千香委員、増子みぎ子委員、森幸三郎委員、渡辺志げ子委員  
(10人)

### (2) 事務局

市民局長

生活文化スポーツ部長

保健体育課長、学校体育係長、千葉市スポーツ振興財団事務局次長

スポーツ振興課長、課長補佐、担当課長補佐、スポーツ振興係長、施設係長

### 4 会 議

(1) 開 会

(2) 紹介・委嘱状交付

(3) 挨拶 市民局長

(4) 役員選出・挨拶 審議会会長・副会長

(5) 議事録署名人選出

(6) 報 告

① 平成23年度スポーツ振興事業実績及び平成24年度方針と施策について

② スポーツ振興計画の進行管理について

③ 国と市計画との整合性について

④ その他

(7) 議 事

① スポーツ・レクリエーションの推進について

② その他

(8) 連 絡

(9) 閉 会

### 5 議事の概要

(1) スポーツ・レクリエーションの推進についての3項目(①トップスポーツとの連携の推進、②千葉市プチ体操、③平成24年度重点事業について)の説明後、審議がなされた。

### 6 会議経過

(1) 開 会 14:00

① 会議は公開。(傍聴人:1人)

② 委員10人のうち10人出席。

(2) 紹介・委嘱状交付

委員の紹介後、市民局長から代表の委員に委嘱状を交付

(3) 挨拶

(市民局長)

皆様、御苦労さまでございます。

市民局長の金親でございます。

本日は、大変お忙しい中、第1回千葉市スポーツ推進審議会にご出席いただきありがとうございます。

また、日頃より市政に対しましてご理解ご支援いただいておりますこと、感謝申し上げます。

ただ今、市長に代わりまして、委嘱状をお渡しいたしました。任期の2年間にわたりまして、本市のスポーツの推進につきまして貴重なご意見を賜ればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ご存じのとおり、本市では従来スポーツ推進を教育委員会が担当していましたが、4月に市長部局の市民局へ担当替えがありました。いろいろな経緯がありますが、今後もスポーツの推進は、まさに市民生活に極めて密接に関係しています。まちづくりを盛り上げるためにもスポーツの力というものは大変大切であるという観点から、教育委員会も大事な役割を担っていくわけですが、市民局の方でスポーツと文化が一体となり盛り上げ、市民の皆様、本市の向上のため、お役に立ちたいという思いがあり、見直しがありました。このような点を踏まえまして、是非皆様には貴重なご意見を審議会の中でいただければと考えています。

二年間に渡りまして、委員の皆様から様々なご意見をいただくこととなります。本日も、今年度の取組み等事務局で説明させていただきます。忌憚のないご意見を賜り、本市のスポーツ振興が益々充実していきますよう、お力添えをいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(4) 役員選出

会長選出について、事務局一任を受け、霜委員を推薦し、承認される。

・会長挨拶

ただ今、会長に推薦いただきました霜でございます。ごあいさつを申し上げます。

委員の皆様のご協力をいただき、会長の任を果たしてまいりたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今月末から4年に一度のスポーツの祭典、オリンピックがロンドンで開催されます。

本市からもトライアスロン、陸上競技等の選手が参加する予定です。スポーツの祭典として、熱気が帯びてくることと思います。市民にとりましてもスポーツの興味・関心が年々高まってきていますので、本審議会の意義も重要と考えます。

私ごと、トライアスロンの選手団と共にロンドンに行ってまいります。ロンドンでどのようなドラマが起こるか楽しみにしております。何れにしましても、本市選手の応援をしております。

本日の第1回の審議会におきまして、委員の皆様からそれぞれの立場から忌憚のないご意見をいただいてまいりたいと思っております。甚だ簡単ですが、御挨拶とさせていただきます。

(進 行)

会長に議長を依頼する。

(議 長)

副会長を選出したいと思います。

- ・副会長選出について、会長一任を受け、渡辺委員を推薦し、承認される。
- ・副会長挨拶

皆様のご協力をいただき、微力ですが会長の手助けができればと思い、任務を務めてまいります。よろしくお願いいたします。

(5) 議事録署名人について

(議 長)

議事録の確定方法は、「予め指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

(委 員)

<異議なし>

(議 長)

それでは、議事録署名人として、内山委員にお願いしたいと思います。内山委員よろしくお願いいたします。

(内山委員)

<了承>

(6) 報 告

①平成23年度スポーツ振興事業及び平成24年度方針と施策について

(議 長)

会議次第に従いまして、進めてまいります。

(6) の報告①「平成23年度スポーツ振興事業及び平成24年度方針と施策について、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

スポーツ振興課より、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(事務局)

保健体育課より、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(事務局)

スポーツ振興財団より、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(議 長)

ただ今の報告につきまして、質問などありますか。

(委 員)

児童生徒の体力運動能力についてですが、全国平均を上回っています。体育学習の充実とともに運動部活動もかかわっていると思います。現在の運動部活動参加率はどのくらいですか。また、加入率の推移はどうなっています。

(事務局)

中学生の平成23年度の運動部活動の加入率は68パーセントです。平成6年度までさかのぼりますと、加入率は72%ですので、急激な減少ではありませんが、長期的な視点からは、やや減少しています。なお、運動部活動数は、一時少子化の影響で廃部により減少傾向にありましたが、現在は横ばい状態です。

(委 員)

中学校の保健体育では、武道必修化となり3ヶ月経過しましたが、現状及び生徒の反応は  
どうですか。

(事務局)

武道の学習は、秋に実施する学校がほとんどです。6月に実施した2校につきましては、  
指導主事を派遣し学習内容や指導方法について確認しました。柔道の指導は十数時間ですが、  
その単元指導計画を全中学校から提出してもらい指導内容について確認しました。中学校へ  
入学して間もない一年生男女については、投げ技を扱わず、まず、受け身を習得する指導過  
程が重要であると全中学校に指導しています。

(委 員)

ダンスについても必修化となりましたが、柔道との選択ですか。

(事務局)

武道、ダンス共に必修です。武道は主に、柔道、剣道、相撲などから、同様に、ダンスも  
男女共に、ヒップホップなどの現代的なリズムダンス、創作ダンス、民謡やフォークダンス  
などから各学校で選択しています。

(委 員)

武道は、競技を目的として競技を教えていくのですか。日本独特の文化として教えていく  
のですか。また、ダンスの目的を教えてください。

(事務局)

保健体育学習の武道の捉え方についてですが、特に競技性を求めてはいません。学習指導  
要領では、武道の学習を通じて我が国固有の伝統と文化により一層触れることができるよう  
にという点を踏まえながら、礼法や相手に対して思いやりの醸成もできると考えています。

ダンスも必修化になりましたが、ダンスに限らず、技能、知識・理解、関心・意欲・態度、  
思考・判断と身につけさせたい力が4観点あります。比重は決められていませんが、リズム  
に乗り楽しく体を動かしたり、自分が表したいイメージをとらえて表現したり、友達と関わり  
ながら創り上げていく思考力、フォークダンスですと風土や文化的背景についての知識な  
ど、競技力ではなくいろいろな力を、幅広く身につけられるように指導していきます。

(委 員)

競技しか教えられてきていない指導者からは、競技しか教えてもらえないと感じます。何  
故稽古着の合わせが、左が上なのか、なんばに何故歩くのか等このような伝統的な点を教え  
てあげないと「武道嫌いにしてしまう」と思います。

(委 員)

ダンスを教える教員の指導はどのようにしていますか。

(事務局)

これまでも必修ではなく、選択性でしたがダンス実技研修会で、指導法を研修してきまし  
た。ダンス発表会において、他の発表を見ることにより指導力を高めてきました。必修化と  
いうことで、これまで以上に男性教員の指導機会が増えますので、合宿指導者講習会では、  
男性教員を講師として授業実践に基づいた指導方法の研修も行いました。さらに、研究指定  
校でダンスの授業公開もしています。今年度も外部講師を招聘しての研修も予定しています。

(委 員)

このごろ運動会・体育祭では「よさこいソーラン節」に偏っている傾向があると感じます。  
それぞれ工夫はなされていますが、体育学習の中でいろいろと学ばれていますので、違った

ダンスの発表も期待できます。

(委 員)

スポーツ振興財団が公益法人化となったことによりどのようなメリットがありますか。

(事務局)

不特定多数の方を対象とした公益目的事業は非課税となります。収益事業だけに税金がかかります。収益事業の最低50パーセントは、公益目的事業に繰り入れ事業をすることになっていますので、千葉市が求めるスポーツ振興事業を幅広く展開します。個人や企業からの寄付がありますが、税制上の優遇措置があります。

(委 員)

体育協会事務局がスポーツ振興財団に移ったことによりどのような影響がありますか、メリットの一つとして、後援をしやすい面があると思います。

(事務局)

事務局をお引き受けして、まだ3か月ですが、民間と同様のいろいろな発想で事業ができると思います。具体的な事業はこれから、検討していきたいと思っています。

(委 員)

ヨットの市内の小・中学校の活動状況、参加人数や普及率はどうですか。

(事務局)

磯辺第一中学校と稲毛高校附属中学校が活動しています。風力で進むヨットの普及率は、減少傾向にあります。

(委 員)

国際千葉駅伝の観客数については、どのように調査されていますか。

(事務局)

主催者のフジテレビ、日本陸上競技連盟の発表によるものです。

(議 長)

報告②「スポーツ振興計画の進行管理について」、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

スポーツ振興計画の進行管理について、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(議 長)

ただ今の報告について、質問はありますか。

(委 員)

平成24年度の追加事業「スポーツフェスタ」について、追加の経緯を教えてください。

(事務局)

所管より、追加事業の連絡がありましたので掲載しました。

(委 員)

追加事業についての財政的支援はありますか。

(事務局)

本計画に位置付けたことによる財政的支援は、ありません。

(委 員)

進行管理表は、今後、方向性の5つ柱のどこが充実したかわかりやすくするため、各方向性ごとに、取り組み状況の割合を示していくと、スポーツ振興計画の中での進行のイメージがしやすくなると思います。

(議 長)

報告③「国と市計画との整合性について」、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

国と市計画との整合性について、レジメ報告資料に基づき報告がなされた。

(議 長)

ほかに、質問がなければ報告は終わります。

## (7) 議 事

### ①「スポーツ・レクリエーションの推進について」

(議 長)

議事1のスポーツ・レクリエーションの推進について、①トップスポーツとの連携の推進について、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

①トップスポーツとの連携の推進について、説明がなされた。

(議 長)

①トップスポーツとの連携の推進についての説明がありましたが、ご質問、ご意見はありますか。

(委 員)

懇話会に出席しておりますが、内容は、事務局からの説明のとおりです。さらに、もう少し、いろいろな角度から検討していく必要があるということでしたが、第1回の意見の内容をまとめますと、事務局の説明のとおりです。

(委 員)

QVCマリンフィールドに近い総合型スポーツクラブと、ロッテマリーンズとの連携が当初はかなり密接でしたが、当初のかかわりと変わってきました。そこで、「連携を深めていきましょう」という話が出ていますが、地域が直接交渉するのか、行政がかかわっていき連携を保っていくのでしょうか。

(事務局)

懇話会は、チーム側、市民のスポーツ関係者など、行政も加わっており、それぞれの意見を出していこうと考えています。

(委 員)

行政は後押ししていくのですか。

(事務局)

トップスポーツの連携に関しましては、まだ、理念的なところ です。具体的に、どのような点を行政がやるべきなのか、団体はどの程度行うのかなど、模索しているところです。まずは、データベースを作成し、情報を提供していこうということが第一段階で取組み始めているところで、ご審議いただいています。その後、市民とチーム団体とのつなぎ方については、改めてご審議をいただいくことを考えております。

(委 員)

何れにしましても、小さなスポーツクラブの力では、スムーズに行かない面があると感じていますので、後押しをしてくれると力強く感じます。

(委 員)

トップアスリートの対象の個人についてですが、本市小・中学校卒業の選手が日本代表ク

ラスの選手を生み出す大学に進学した時に、その選手が出場する全国大会の情報を発信したり、ブログも選手と直接交渉しリンクに貼ったりすると、観戦したい人は行きやすいと思います。

ホームページ掲載イメージの種目の対象について、教えてください。

(事務局)

競技スポーツと考えています。日本体育協会加盟の種目を基にするという考えもあります。

(議長)

①トップスポーツとの連携の推進につきまして、事務局、提案のとおり進めていくことでよろしいでしょう。

(委員)

<承認>

(議長)

次に、②プチ体操について、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

②プチ体操について、説明がなされた。

(議長)

プチ体操についての説明がありましたか、ご質問、ご意見はありますか。

(委員)

プチ体操の動画は、ありますか。

(事務局)

現在は、作成していません。今後、提示した内容の動画作成についても検討していきます。

(委員)

スポーツ施設で、インストラクターがついて、プチ体操を教えてくれる機会があるのですか。

(事務局)

スポーツ教室でこのような体操を指導しています。スポーツコーチは、自分たちでも教室を行っていますので、今後、広報していきたいと考えています。

(議長)

全市民に、特に、中高年齢層に啓発できると思います。配付場所、PRも積極的に行っていくということで、②プチ体操について、事務局の提案のとおり進めていくということではよろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(事務局)

承認をいただきましたので、今後、スポーツコーチと最終確認し、8月ごろから発信してまいります。

(議長)

次に、③平成24年度重点事業について、事務局、説明をお願いいたします。

(事務局)

③平成24年度重点事業について、説明がなされた。

(議長)

平成24年度重点事業についての説明がありましたか、ご質問、ご意見はありますか。

まず、「緑、水辺を活かしたスポーツ大会の開催、ビーチスポーツ活動の促進」について、いかがですか。

(委員)

幕張の浜では、どの程度の規模でビーチサッカー大会が開催されていますか。

(事務局)

7月下旬の2日間で、ミニサッカーコート8面設置し、48チーム程度の参加があり開催されています。

(議長)

次に、「多世代参加型スポーツ・レクリエーションの推進、障害者とのスポーツ交流の促進」について、いかがですか。

(委員)

実際に、地域では何らかのかたちで活動されていますので、多くの方たちで共有できるようにすることが、まず、第一と思います。特に、障害者との交流は、県単位で行われていることがあります。千葉市の場所であったり人であったりと関わっていますので、市で何らかの情報を含めて対応していくと、よいと思います。

(議長)

次に、「スポーツ障害などの予防の啓発、スポーツ医・科学の活用の構築」についてですが、スポーツ医科学の組織は、県にはあります。千葉市は、スポーツ医科学は組織化されていないことが現状です。この点につきまして、いかがでしょうか。

(委員)

スポーツ医科学の分野は、千葉県は進んでいますので、千葉市も進めていくとよいと思います。

(議長)

とても重要な分野ですので、事務局の提案のとおり、検討していくことでよろしいでしょうか。

(委員)

<承認>

(議長)

貴重なご意見ありがとうございました。他に、ありますでしょうか。特にないようですので、議事(1)スポーツ・レクリエーションの推進については、承認されました。

議事(2)その他は、ありますか。

(事務局)

特にありません。

(議長)

それでは、議事終了いたします。ご協力ありがとうございました。

(進行)

会長、進行ありがとうございました。委員の皆さま、慎重なご審議ありがとうございました。

最後に、事務局より連絡をさせていただきます。



(8) 連 絡

(事務局)

第2回スポーツ推進審議会は、今後の予定に記載されておりますが、確定しましたら改めて、ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

(進 行)

これを持ちまして、平成24年度第1回スポーツ推進審議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

(9) 閉 会      15:45終了